

2021.1.31

## 令和2年度 第10～11回役員委員合同会議に代えての支部長報告

新春を迎え気持ちを新たにしていた矢先でしたが、コロナ第三波の感染急拡大・緊急事態宣言で1月と2月の役員委員会議は中止しました。従って12月から1月までの活動概要を報告致します。

\* 1月16日(土)と2月6日(土)の役員委員会議、12月19日(土)忘年食事会、1月23日(土)の街歩き、2月6日(土)の新春交流会は、コロナ感染急拡大と緊急事態宣言のため、会員の健康と医療崩壊防止のためにも全て中止した。街歩きについては、感染が収まり季節が良くなった時に実施することにした。下準備をして頂いた伊藤さん、久保田さんには、お手を掛けてしまい申し訳ありませんでした。

\* 元旦付けで会報第30号を発行

中村俊信さんが印刷後、12月25日(金)10:00「ゆめこらぼ」にて封入(栗田、濱田)、同11:30市役所2階のロビーで地域の世話役に渡し、年明け松の内辺りまでに配布を依頼。手配りできない分は郵送した。又、校友会本部や北部支部及び各地域支部長宛には栗田さんから郵送。早稲田、慶応、法政、中央、國學院、東京国際、創価の西東京校友会支部長には鶴田さんから郵送した。

\* ブルゾン完成

12月5日(土)の役員委員会議に出席の方には現物引渡済み。残りは1月16日に計画するも、役員会議中止のため、後日改めて日程を決めることにした。

前回役員会の決定通り、担当の後藤さんの労力負担を避けるため会が一括購入した形を取り、注文者からは久保田会計長が代金の回収を行う。

\* 西東京からの地域支部助成金(北部支部役員会)

12月22日に北部支部役員会が開かれ、西東京からの地域支部助成金について協議した。しかし執行部と西東京の意見が異なり平行線で纏まらず、申請書の再提出で次回持ち越しとなった。本件の協議内容は1月17日付けメールの添付資料(及びFAX送信)通りで、本会の役員委員諸氏に送り済み。

\* 市内在住校友に対する交流推進活動(会員増強委員会を対外的には会員交流推進委員会と称す)担当は安松委員と松本委員。

2020年度北部支部総会案内の返信通信欄に具体的なコメントを頂いた校友161名の内、見込みが高いと思われる方々には、11月中に安松さんが既に接触済み。4名の有意な反応を得た。

その後12月初旬、平易なコメントを頂いた40才～70才までの44名の校友に対して、西東京紫紺会の案内(支部長挨拶文、HP紹介、連絡先情報記入用紙、返信用封筒)を地域の世話役により訪問配布

した。表札のない訪問先へは郵送した。配布の目的は、今後の交流のため電話番号とメールアドレスを頂くことにある。これらの活動でかなりの返信があり、濃厚とみられる方々に年末、安松さん、鶴田さん、小垣原さん、水井さんが面会して初顔合せをした。その後見込みの濃い方々と役員委員が逐次ズームで自己紹介などをして交流を開始した。

第三弾として北部総会に返信有でコメント無しの残りの校友（20～40歳、70歳以上）、及びこれまでの市民まつり記名者を加えた方々に、同様の案内書を1月下旬に郵送。既に返信が到着し始めている。

尚、第三弾の名簿96名は北部情報から当会会員や退会者、重複記載を除いたもので、これを含めて、交流用名簿の整理は松本さんが行った。返信封筒には切手も貼ってあるので、交流に否定的であっても常識的には回答するはずである。従って回答があった方々のみが今後の西東京の校友と見做して良いと思う。その情報・データ整理も松本さんが行う予定である。

以 上

次回の役員委員会議 3月6日（土）は未定